

教育委員会定例会（平成22年11月）会議録

1. 日 時	平成22年11月5日（金） 16:00～17:20
2. 場 所	新居浜市学校給食センター 2階 会議室
3. 出席者	委員長 太田 恵理子 委員 三木 由紀子、小野 正 師、宇野 征 一 教育長 阿部 義 澄 事務局長 高橋 康 文 総括次長 近藤 清 治 次 長 秋 本 司 課 長 関 福 生、藤 田 秀 喜、曾 我 幸 一 伊 藤 繁 次 郎 館 長 坂 本 睦 美
4. 教育長の 一般報告	教育長報告 10月分行事報告及び11月分行事予定について その他
5. 記録者指名	社会教育課 竹林 栄一
	<p style="text-align: center;">＜議 案＞</p> 議案第36号 平成22年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について
	<p style="text-align: center;">＜その他＞</p> (1) 中学校選択制の申請状況について (2) 夢広がる学校づくり事業に係る評価結果及び配分予算（案）について

<p>太田委員長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、平成22年第11回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は宇野委員さん、三木委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。平成22年第10回定例会会議録は、小野委員さん、宇野委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長の一般報告をお願いします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>10日と11日 第41回新居浜市民体育祭の競技スポーツの部がバレーボールをはじめとして26種目において盛大に開催されました。</p> <p>13日 第60回平成22年度美術展覧会の搬入があり、9部門において422作品が出品されました。書道、写真、デザイン、版画の部門に中高校生の出品者の増加がみられました。前期展が洋画・書道・陶芸・版画の部で23日から28日まで、後期展が日本画・写真・華道・美術工芸・デザインの部で30日から11月4日まで開催されました。また、3日に授賞式が執り行われました。入場者数は、前・後期を含め、昨年より188名増加し、2930名の観賞者でした。</p> <p>14日 平成22年度中学生海外派遣事業アメリカ訪問団結団式及び壮行会が佐々木市長、村上市議会議長、保護者、学校長が参加して執り行われました。今年度は「Friendship Link 2010 世界はひとつ 友情の輪」をスローガンとして、30日から11月9日までウィスコンシン州フランクリン市での家庭にホームステイし、現地の中・高校での学校生活を送ります。貴重な体験とともに友情の輪を広げてもらいたいものです。</p> <p>16日 第16回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会が「銅夢にいほま」を会場として開催されました。遠くは福島県や沖縄県からの全国各地15地域から、それぞれの地に伝わっている「寄せ玉遊び」の素晴らしさを披露してくれました。</p> <p>19日 別子銅山記念図書館において秋の読書週間特別ロビー展として、スタジオジブリで「崖の上のポニョ」の作画監督をされた、新居浜市出身の近藤勝也さんが、子供のころに描いた絵やセル画を展示した「近藤勝也の世界」展が11月21日までの期間開催されます。</p> <p>20日から21日 愛媛県公民館連合会発足60周年記念平成22年度愛媛県公民館研究大会が新居浜市市民文化センターを会場に</p>

開催されました。記念フォーラムが「公民館の役割は終わったのか」～課題と今後の方向性を考える～の演題で行われました。また分科会では、「人権意識を育てる公民館活動」、「地域の特色を活かしたプログラム開発」ほか、3つの分科会テーマで実践発表をもとに研究協議が行われました。

21日 第46回新居浜市小学校陸上記録会が河川敷陸上競技場で開催されました。市内のすべての小学校が参加し、放課後の特別練習などで鍛えられた学校代表の選手たちが熱い思いで日ごろの成果を発揮してくれました。しかし、当日のコンディションは雨天のため標準記録の突破を目標とする参加児童が多いようでした。そのような中でしたが、個人種目の4位までと400mリレーの上位4校が11月8日に開催される愛媛県小学校陸上記録会に参加します。新居浜市代表として好記録を期待したいものです。

22日 平成22年度幼・保・小関連訪問が約90名の参加者を得て、多喜浜小学校で開催されました。昭和52年からの本研究会において保育園と小学校の関連訪問研究会は県下では初めての開催であり、意義のある会となったと思います。特に、保育園関係者の参加者が多く、関心のたかまりを感じました。多喜浜小学校の1年生が多喜浜保育園児に昔の遊びを教える内容でありましたが、礼儀正しい多喜浜保育園児の姿に驚かされ、各保育園・幼稚園それぞれの経営方針にかなりの差があることが感じ取れました。保育のねらいに沿った活動と学習指導要領に沿った小学校での学習をスムーズにつないでいく足掛かりが提案されたのではないかと感じました。教育委員会としての幼保小の連携については、現在検討期間中であり、とにかく1回でもいいから各校区別に幼保小学校の教職員の交流を始めていかなければならないと感じました。

23日 平成22年度第55回秋の芸術祭の第1部が開催され、11月3日までの期間に第5部まで開催されました。泉川小学校の児童が来年入学する新1年生の安心や安全を守る力になろうと、泉川まちづくり協議会と学校との主催で安全安心マップづくりが行われました。全校児童と住民・高校生らボランティア約200人が参加し通学路を往復し点検を行い地図にポイントを付けていきました。協議会では今回の調査に基づいてのマップを新入生に配布することになっています。

24日 2010トーチランINえひめ新居浜大会が、「自分へ、チャレンジ。明日へ、チャレンジ。」の名称で、雨天の中ではありま

したが、イオンから西の土居・楠中央通り・心身障害者センターのコースで開催されました。

25日 少年消防クラブ防火ポスター展の審査会が開催されました。市内各小学校から815点の応募があり優秀作品や入賞作品が選出されました。少年消防クラブは15の小学校で結成され、昭和50年から36回目の防火ポスター展となります。11月5日から11月15日までイオンモールで展示が行われます。

27日 平成22年度第45回愛媛県公立小中学校事務研究大会新居浜大会が開催されました。大会テーマとして、「連携を強化し、学校力を高める学校事務のあり方」―絆＝連携で生まれかわる学校事務―が掲げられ、全大会では大会テーマについてシンポジウムが開催されました。関社会教育課長が学校と地域・家庭とのかかわり方についてシンポジストとして日ごろの地域活動からの体験を通して得たものを述べてくれました。

29日 平成21年度決算に係る決算特別委員会教育委員会関係が開催されました。

30日 先人の偉業を振り返り、その歴史の上に今の自分たちが生きていることを知ってもらい、地域を愛する心の醸成を図ることを目的に、こども夢未来基金事業「別子銅山子ども探検隊」の旧別子登山が、台風14号の接近で心配されましたが、小学4年生から6年生までの児童22名が参加し、実施することができました。私の願いとして、新居浜の子どもたちがせめて、義務教育の期間に、新居浜の山から海まで(別子銅山から四阪島まで)の、新居浜の先人たちの歴史や努力の歩みを体験して、大人になってほしいという願いを持っています。新居浜には、何もなかったところから資源を活用し、環境問題を解決し、繁栄と共存の歴史を作り上げてきた文化があります。このような「新居浜のこころ」を次の時代をつくっていく子どもたちに、しっかりと伝えていくものが、つくれないものかと思っています。

新居浜市中学生海外派遣事業アメリカ訪問団「Friendship Link 2010―世界はひとつ 友情の輪―」に参加する中学生の出発式が行われました。元気にバスに乗り込んで行きました。これまでの研修を活かして、若い感性に、11日間の貴重な体験を積んでいただきたいものです。

31日 別子小・中学校本館お別れセレモニーが別子校区連合自治会と学校との行事として地域の方々や卒業生、勤務した教職員等、多数集まり盛大にセレモニーが執り行われました。往時には一学年が2

クラスある時もあり、各世代の輪が方々にでき、笑い声が伝わっていました。また、地域の方々の心あるしし鍋、栗の炊き込み寿司、ししの焼き肉、おでん、焼きそば、あめごの串焼き等、別子の思い出となるもてなしに久しぶりに故郷に帰ってきた思いを新たにしている方々に触れ合うことができました。

にいはまやんちゃKIDS2010が「秋だ！祭りだ！わっしょいKIDS」というテーマのもと、山根総合体育館で開催されました。園児や児童が親や祖父母と共に参加し、市内の主任児童委員さん、愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブのみなさん、市内の東高校、南高校、工業高校、商業高校、工業高等専門学校、西高校、児童センター地域活動クラブ、まごころの会等の130名のボランティアの協力を得て、用意された16のゲームを楽しんでいました。

広瀬歴史記念館特別企画展「別子銅山が育んだ社宅街・別子の山から新居浜へ」が開催されました。開催期間は11月28日までとなっております。

身体障害者チャリティー第27回ウエイト制オープントーナメント全日本拳武道選手権大会が市民体育館で開催されました。小学生から成人までの予選を勝ち抜いてきた選手たちの激しい闘いに、日ごろの練習の成果と厳しさを感じさせられました。

校区の文化祭が惣開校区で雨の中ありましたが、地域の方々の参加のもと盛大に開催されていました。

11月1日 子どもたちの健やかな成長を願って、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として制定された「えひめ教育の日」記念として「えひめ教育の日推進大会」が、松山市エスポワール愛媛文教会館で開催されました。宇野征一委員さんに出席していただきましたので後程ご紹介していただければと思います。

2日 高見知佳さんによる読み語りの会が惣開小・大生院小で開催されました。また、4日には金栄小・船木小・高津小で実施されました。本市出身の高見知佳さんは現在沖縄に住まれています。今回5つの小学校で読み語りを行ってくれました。高見さんはピアノの荒井さんと一緒に、絵本の読み語りや子どもたちの関心を逃さない優しい語りで子供たちに楽しい時間をプレゼントしてくれました。子どもたちのみずみずしい感性に訴えかける、読み語りの力を感じました。これからも読書や読み語りを子どもたちの成長の上に活かしていきたいと、再認識いたしました。なお、高見さんには、年明けに再度来新していただき、読み語り会を開催してもらう予定です。

3日 第25回新居浜市駅伝競走大会兼第54回新居浜市中学校駅伝競走大会が晴天に恵まれ、中学生トップアスリート事業のまとめを兼ねて開催されました。指導をお願いしている松山大学女子駅伝部コーチの村井啓一先生やオリンピックに出場された土佐礼子先生が参加され、激励の言葉や競技終了後に講評をいただきました。上位チームの結果は、中学男子は、1位北中A、2位中萩中A、3位泉川中A、中学女子は、1位東中A、2位北中A、3位川東中Aとなりました。11月23日の県駅伝大会へ参加するチームには、さらにチーム力の向上を図り、コンディションづくりに配慮して、記録を伸ばしてもらいたいものと考えております。

4日 新居浜市学校保健研究大会が新居浜市学校保健会及び新居浜市教育委員会の主催で、宮西小において「自分の体に関心を持ち、自ら進んで健康な生活習慣を確立しようとする児童の育成」を研究主題として開催されました。児童生徒への学校保健功労者として川東中学校の学校医として委嘱している、城下久先生に学校保健功労者表彰が送られました。また、健康に関する作文表彰として、惣開小学校2年加藤早希さん、神郷小学校3年深川彰子さん、新居浜小学校6年今西清かさん、船木中学校2年梶原百央さんにそれぞれ贈られました。

5日 公民館活動リーダー（志縁人）養成塾特別講座が開催されます。

その他、11月の主な行事予定についてご報告を申し上げます。

- 6日 こども夢未来基金事業「新居浜こども検定」
- 7日 校区文化祭（宮西・高津・大島・泉川・船木・大生院・角野）
別子銅山記念図書館において「図書館まつり」
- 9日 中学生海外派遣事業アメリカ訪問団帰着
- 10日 第2回地域発達支援協議会 第59回秋季県展新居浜移動展
- 11日 小・中学校音楽発表会
- 12日 小中学校教科外研修会
- 13日 広瀬歴史記念館特別企画展記念講演会
- 14日 校区文化祭（新居浜・金子・金栄・若宮・浮島・垣生・神郷・多喜浜・中萩・別子山）
- 16日 県中体連研究大会（川東中）

	<p>18日 図書館機能強化事業授業研究会（船木小）</p> <p>19日 大阪フィルハーモニー交響楽団公演（浮島小）</p> <p>21日 秋の自然散歩の集い「別子ラインと銅の道を歩こう会」</p> <p>22日 あすなろ教室進路相談会</p> <p>23日 第5回こころのことばコンクール（銅夢にいほま） 第30回県中学駅伝競走大会兼第18回全国中学校駅伝大会予選会</p> <p>24日 小中学校人権・同和教育研究大会</p> <p>25日 ハートなんでも相談員等連絡協議会、学力向上プロジェクト中間発表会（泉中）</p> <p>26日 第2回小中学校長研修会</p> <p>29日 科学奨励賞第1次審査会・図書館機能強化事業授業研究会（多喜浜小）</p> <p>30日 第2回不登校対策検討委員会 中・高特別支援教育コーディネーター連絡協議会</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>ありがとうございました。一般報告について何かご質問ありませんか。えひめ教育の日推進大会に参加された宇野委員さん、報告がありましたらお願いいたします。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>11月1日は、いい日と読むのだそうですが、えひめ教育の日の大会が文教会館であり、参加させていただきました。今回は第3回目で、第1回目はひめぎんホールで盛大に華やかに開催されたのですが、今回は平日ということもありまして、少し空席が目立ったように思いました。事務局からの報告の中では、この教育の日の取組が、それぞれの地域で確実に事業が増えていっており、輪が広がっているという報告がありました。</p> <p>松山市で大会をするにあたって、新居浜市でも八幡浜市でも、こういう活動が盛んに行われるようになると、もっと素晴らしいと思いました。講演会があったのですが、なるほど！と頷けるような内容の話で、“子どもたちが成長してほしい”“もっと夢をもってほしい”とか、その土台になるのが大人の姿であり、大人がいい姿を見せたら子どもたちの夢も広がり、大人がお手本になって、子どもたちは成長するのだということを言われました。いい姿を子どもたちに見せる日というか、11月が大人の素晴らしい姿を見せる月間となれば、もっと素晴</p>

<p>太田委員長</p>	<p>らしいなと思いました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。</p> <p>続いて、議案審議に入ります。議案第36号、平成22年度、新居浜市教育委員会、点検・評価報告書について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>関社会教育課長</p>	<p>はい。議案第36号 平成22年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について、ご説明いたします。</p> <p>議案書8ページをお開きください。新居浜市教育委員会点検・評価報告書につきましては、平成20年度から実施いたしており、今回が3回目ということになります。今回は、平成21年度に実施いたしました教育委員会関連の施策事業69事業につきまして自己点検評価を行ったのち、その中で特に重点的に取り組んでおります事業17事業に絞り込みまして、讃岐幸治様、今井基博様、小野トヨミ様、3名の学識経験者からいろいろとご意見・ご助言をいただいたものでございます。それを踏まえた今後の取組につきまして、方向性やいろいろな教育委員会関係の情報等をこの報告書にまとめたものでございます。お手元にお配りしております報告書をご覧いただけたらと思います。報告書につきましては、前回と同様に2章に構成をいたしております。目次の部分をお開きください。第1章におきましては平成21年度教育基本方針から始まりまして、各課がそれぞれ行いました点検・評価の内容について、その結果を載せております。そして、第2章におきましては教育委員会の活動報告について記述いたしまして、最後に参考資料として、現在の組織図・職員数等を掲載しております。学識経験者である3人の委員の皆さんからいただきました、それぞれの意見につきまして、各課から今後の対応の方向性を簡単に説明をさせていただきます、皆様方のご審議を経たうえで当報告書を議会へ提出してまいりたいと考えております。</p> <p>また、この報告書は、現段階のもので、今後、若干字句等の修正等も予想されます。それにつきましては、この場でご了解をいただいた上で、この後、事務処理を進めてまいりたいと考えております。なお、当報告書につきましては議会提出後、新居浜市のホームページ等におきまして、市民の皆様にご覧いただき、ご意見を求めてまいりたいと考えております。このような情報開示を行い、市民とともに進める活動にもってまいりたいと考えております。この後、各課から、そ</p>

	<p>それぞれの事業における学識経験者の意見・評価等を踏まえた今後の取組の方向性について説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、はじめに社会教育課のほうから説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
藤田学校教育課長	<p>続きまして学校教育課の関係でご説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
曾我発達支援課長	<p>続きまして発達支援課のほうからご説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
近藤総括次長	<p>続きまして体育文化課の関係をご説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
伊藤学校給食課長	<p>続きまして学校給食課の関係について説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
坂本図書館長	<p>次に図書館について説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
関社会教育課長	<p>最後に全体評価についてご説明させていただきます。</p> <p><資料に基づき説明></p>
太田委員長	<p>はい。ありがとうございました。たくさん説明していただいたのですが、何かご質問・ご意見ありましたら、お願いいたします。</p> <p>はい、宇野委員さん。</p>
宇野委員	<p>図書館の学校図書館支援推進事業のところで、学識経験者のかたに成果は予想以上ですという素晴らしい評価をいただいているということですが、そこだけではありませんが、大変お世話になりました。ただ一つだけ、公民館いきいきプラン推進事業・公民館活動のところの今後の公民館の取組の方向性で青年層の公民館活動への関与が減少しております。しかし本市には太鼓台がありますというくだりがあるのですが、若者たちに声をかけると助けてくれるのではないか、参加してくれるのではないか、というふうに思います。君たちを必要としているんだ、助けてほしいと声をかけると意外に参加してもらえ</p>

	<p>のではないかなと思います。以上です。</p>
太田委員長	<p>その他、よろしいでしょうか。はい。小野委員さん。</p>
小野委員	<p>56ページの給食運営改善事業についてご説明をいただきたいのですが、食農と健康に対する西中での発表会、それと自校方式の建物等が古くなってきていること、センター方式について、これから米飯給食を推進していったほうがいいのではないかと、それと給食費の未納等、いろんなものが関連して、大変難しいとは思いますが、当然費用の問題もありますし、トータルで給食について考えなければならない時期にきているなど感じました。あと地産地消率が40%ということなのですが、これは高いほうなのでしょうか。</p>
伊藤学校給食課長	<p>地産地消率50%を目指して進めておりますので、まだ高いとはい切れませんが、</p>
小野委員	<p>新居浜だけというより東予地域、西条・今治・土居とかですね、新居浜の近辺も含めた地産地消で考えて問題はないのではないかと思います。</p>
伊藤学校給食課長	<p>小野委員さんのご意見なのですが、この40%というのは、あくまでも新居浜産のものであって、国の指針としては、県内産というものでありますので、それを含まないと80%を超えていると思います。</p>
小野委員	<p>はい。それであれば問題はないのではないかと思います。</p>
伊藤学校給食課長	<p>お米につきましては、平成21年度37%でございました。ただ、今年度、新しい農家のほうから新居浜産を買ってくれないかというのがございます。新居浜市では年間100トン需給がありまして、昨年度は37%だったのですが、来年23年11月から21トンを生産団体が新居浜のほうへ納入してくださることになります。</p>
小野委員	<p>50%を超えるということですね。</p>
太田委員長	<p>その他、よろしいですか。それでは、議案第36号についてご承認いただける委員さんは、挙手お願いいたします。(全員挙手)</p>

<p>藤田学校教育課長</p>	<p>はい。ありがとうございました。全員挙手ですので承認とさせていただきます。</p> <p>それでは、その他に移りたいと思います。中学校選択制の申請状況について事務局より、ご説明をお願いいたします。</p> <p>中学校選択制申請状況について、ご説明いたします。平成23年度の入学予定者が1183名、このうち、5.41%にあたる64名が中学校選択制の申請を行いました。過去の決定状況につきましては、平成16年度が23名、平成17年度が27名、平成18年度が41名、平成19年度が65名、平成20年度が76名、平成21年度が55名、そして今年度22年度が82名でございます。</p> <p>続きまして、アンケート集計結果をご覧ください。『Q1. どのような基準で中学校を選びましたか?』という質問に対しまして、最も多かったのが『キ. 学校の伝統・校風・雰囲気がよいから』が28名で43.8%、続いて『ア. 自宅から近く、通学に便利だから』が26名で40.6%、『オ. 希望する部活動がある・部活動が活発だから』が25名で39.1%、『イ. 友人がその中学校に行くから』が23名で35.9%、次の『Q2.主に誰の意見・意思で中学校を選びましたか?』ですが、無回答がありましたので、合計が63名になっております。『子ども本人』の意思が一番多くて35名で54.7%、『親子で相談して』が26名で40.6%、『イ. 保護者』の意思が2名で3.1%となっております。『Q3. 中学校の情報をどのようにして得ましたか?』という問いに対して、最も多かったのが『ア. 「夢を育む新居浜市の中学校」を読んで』が40名で62.5%、昨年の39.1%から大幅に増加いたしております。続きまして『カ. 親せき・知人・地域の人などの話を聞いて』が35名で54.7%、続いて『オ. 兄姉・先輩などの話を聞いて』が24名で37.5%となっております。以上でございます。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。何かご質問ございませんか。</p> <p>去年と比べると、去年は、部活動で選んだという方が多かったのが、今年は学校の校風・雰囲気で選ばれる方が増えているんだなと思いました。</p> <p>はい、小野委員さん。</p>
<p>小野委員</p>	<p>今のアンケート集計結果を見ての感想なんですけれども、一番下の</p>

<p>太田委員長</p>	<p>情報をどのようにして得たのか、ホームページを見てが昨年よりも倍に増えているのですが、なかなかホームページを見て情報を得るといのは、まだまだ少ないのではないかなと感じました。</p> <p>その他、ご質問ありませんか。では、進めたいと思います。</p> <p>その他（２）夢広がる学校づくり事業に係る評価結果及び配分予算（案）について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>藤田学校教育課長</p>	<p>A3の横長の資料をご覧ください。8月末に本事業のプレゼンテーションを開催し、委員の皆様からのご意見などを踏まえ、各学校におきまして再度、事業費等を検討していただき、評価点数及び全応募事業の事業費の調整の結果、各学校の査定額を決定しましたので、ご報告をいたします。全体の予算額を400万円といたしておりますことから採点表に基づく配分率により各学校の算定額を算出いたしました。また今年度の応募事業の内、中萩小学校から事業実施の辞退の申し出がありましたことから各学校の判定額に31,000円を均等割り額として加算し、更に評価点に応じて及び一位数のある学校に対しまして1,000～4,000円を上乗せし査定額といたしました。なお、来年3月市議会定例会におきまして本事業を含め、平成23年度の当初予算が審議されますことから現時点において本案を教育委員会の査定額とさせていただきます。以上でございます。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>はい。ご質問ございませんか。</p> <p>辞退したところは、どうして辞退されたのでしょうか。事業内容は物品を購入するとかという使い方ではなくて、全部、学力向上のために人件費にあてるということだったと思います。いいと思ったのですが。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>授業に補助員がついてくれて学力が上がったということで人件費を要望してきたんですね。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>人件費にあてるという要望が不適切だったのでしょうか。</p>
<p>藤田学校教育課長</p>	<p>学校から辞退の申し出があり、その理由については、わかりません。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>それでは、夢広がる学校づくり事業に係る評価結果及び配分予算</p>

(案)については、これでよろしいでしょうか。他に、ご質問はございませんか。

それでは、その他、連絡事項等ございませんか。

他になければ、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思います。12月の定例会は、12月2日(木)の16時より開催させていただきます。

それでは、平成22年度、第11回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。

委員名

委員名

